

7・8 きれいなもようのランチョンマットを作ろう

【ねらい】

折り紙を同じ形（正方形・長方形・直角三角形）に切って、平面上にすき間や重なりなく敷き詰め、きれいな模様を作ることができる。

【学習活動】

教師が作った8点のランチョンマットを提示しながら、きれいな模様にするために気をつけることを見つける。設計図をかく。折り紙を切り、パーツを作る。

学習のめあて「きれいなもようのランチョンマットを作ろう」を確かめる。

- パーツを方眼紙の上に規則的に敷き詰めて模様を作る。できた模様を発表し合い、幾何学模様の美しさを味わう。
- ・きれいにできたことを認め合う。
 - ・できた模様を仲間分けする。
- できた模様を見て気づいたことやわかったことを話し合う。
- ・色や形に気をつけて、規則正しく並べたら美しい模様になる。



【児童の反応及び考察】

【7校時ワークシート】

各自、作業に入る前に前時のめあてをふり返らせ、形や色の種類、敷き詰めのかまりについて再度確認した。そのときに、辺はきちんと並べること、直角は頂点が一カ所に並ぶように気をつけること、2色以上使わないと模様にならないこと、なるべく隣同士は同じ色を置かないことなどを確かめ合った。

敷き詰めてできた形を、直角三角形、正方形、長方形に仲間分けをした。きれいな模様のランチョンマットができたことをほめた上で、T1が、「直角三角形なのに、正方形が見えるよ。」と助言することで、幾何学模様の美しさ、不思議さに入っていた。

その際に、よりよく見えるように、画用紙を正方形に切り抜いたカード（直角三角形2個で正方形（小）、直角三角形8個で正方形（大））を使った。

直角三角形は2つで正方形に、4つで長方形に、8つで正方形に。長方形は2つで正方形に、8つで正方形に。小さい正方形は4つで正方形に、8つで長方形に、16個で大きな正方形にというように図形を多面的にみることができた。



9 レッツゴー・形ワールドについてまとめよう

【学習活動】

- 準備テストをもう一度する。
- ・ 自己評価をする。
 - ・ 最初にした準備テストと比較し、自分の伸びを見る。
- 見つけたことやわかったこと、感想をワークシートに書く。各自が書いたまとめを発表し合う。